

当院にて白内障手術を受けられた患者様へ

現在、当院は「長眼軸眼における多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術の長期成績」という研究を行っています。これは、すでに多焦点眼内レンズを用いた白内障手術患者様のうち、眼球の大きさ（眼軸）が26mm以上の方について、手術後の見え方（視機能）や、レーシックなど追加屈折矯正手術を受けているかなどの状況を調べる研究です。以下の内容をご確認下さい。

1. この研究の調査の対象となるのは、当院にて白内障手術を受けた際に多焦点眼内レンズを挿入された患者様の中で、眼球の大きさ（眼軸）が26mm以上の、眼科学的には長眼軸と呼ばれる方です。
2. この研究は実施にあたり東京歯科大学倫理審査委員会による審査を経て、学長の承認を受けて行われています。
3. この研究の目的は、長眼軸を持つ患者様に対する多焦点眼内レンズ挿入の有用性について調査することです。
4. 性別、年齢、手術日、視力、眼鏡装用の状況、追加屈折矯正手術の有無、コントラスト感度などについて、調査担当医師が対象となる患者様のデータを調査します。
5. この調査では、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報は含まれません。
6. この研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公表されることはなく、個人情報を守られます。
7. 研究対象となる方等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することが可能です。詳細につきましては研究責任者または担当医師にお尋ね下さい。
8. この研究への参加を希望されない場合は、その旨をお知らせ下さい。参加されない場合でも、患者様が不利益を受ける事はありません。
9. 本研究についてご質問または疑問がある時は、いつでも研究責任者または問い合わせ窓口にご連絡下さい。

研究責任者 ビッセン 弘子（教授）

問い合わせ窓口 東京歯科大学水道橋病院眼科
電話 03-5275-1856